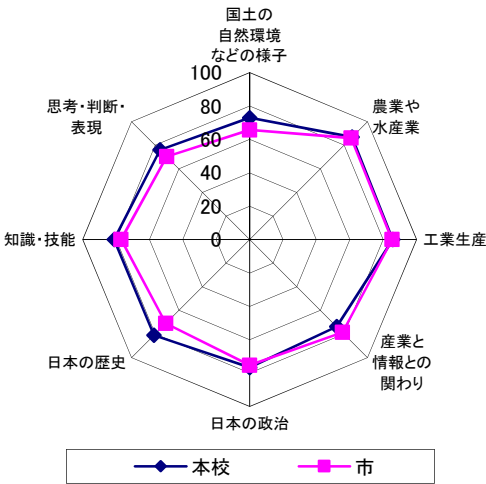


宇都宮市立上戸祭小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の自然環境などの様子	73.0	65.7	67.0
	農業や水産業	86.9	86.1	77.5
	工業生産	85.7	85.4	76.7
	産業と情報との関わり	73.8	78.6	69.6
	日本の政治	76.6	75.2	65.8
	日本の歴史	81.2	71.1	69.1
観点別	知識・技能	81.1	77.0	72.8
	思考・判断・表現	76.0	70.3	64.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然環境などの様子	○日本の周辺の海洋名に関する問題の平均正答率は82. 5％で、市の平均正答率を12. 7ポイント上回っている。 ○日本の気候の様子についての問題は、市の平均正答率より7. 4ポイント上回っている。 ●自然災害についての問題の平均正答率は84. 1％で、市の平均正答率を6. 2ポイント下回っている。	・学習の中で意図的に地図帳を活用することで、地理に関する基礎的な知識の向上を図る。 ・自然災害が起こる原因と被害の様子と、被害を減らすための取り組みを関連付けて考えるよう指導していく。
農業や水産業	○水産業の国内生産量と輸入量の変化についての問題の平均正答率は93. 7％で、市の平均正答率を3. 2ポイント上回っている。	・複数の資料を読み取り、それらを関連付けて考えられることを、文章で表現する機会を継続して設けていくようにする。
工業生産	○日本の工業生産についての問題は、領域全体で市の平均正答率とほぼ同等である。	・資料を扱った問題に取り組む機会を設けて、資料を活用する力がさらに身に付くようにしていく。
産業と情報との関わり	●情報モラルについての問題の平均正答率は85. 7％で、市の平均正答率を5. 9ポイントと大きく下回っている。	・日常生活の中でインターネットで起こる問題の例を意図的に取り上げ、学習したことをもとにその原因や対処法を考えさせることで、メディアリテラシーを高めていく。
日本の政治	○日本国憲法や日本の政治についての問題は、市の平均正答率とほぼ同等である。	・日本国憲法や日本の政治が自分事として捉えられるように、授業内容に応じて身近な教材を効果的に活用できるようにしていく。
日本の歴史	○聖武天皇の政治についての問題の平均正答率は81％で、市の平均正答率より15. 6ポイントと大きく上回っている。 ○藤原氏の政治についての問題の平均正答率は98. 4％で、市の平均正答率より13. 7ポイントと大きく上回っている。 ○書院造についての問題の平均正答率は79. 4％で、市の平均正答率より22ポイントと大きく上回っている。	・歴史上の出来事が起こった社会背景を次の事象とつなげられるよう、資料を活用した授業を継続していく。